

## ゼミ活動報告 「台湾卒業旅行」

油野奈菜

今年の二期生による宮川ゼミ卒業旅行は、二泊三日で台湾へ行ってきました。去年の卒業旅行は北海道ということで、ゼミのメンバーと先生で海外に行くのは初の試みだったのですが、海外が選択肢に入った途端ゼミ生のボルテージは急激に上がり（笑）なかなかあっという間に行先は台湾に決定したのでした。

初日は、関空から台湾について昼食後、台湾市内観光に行きました。昼食のお店も、男子と先生はパンフレットには載っていないけれど、地元の人達が通うような「ツウ」なお店に行きたいと着いて早速、好奇心が刺激されたようでした。私と残りのメンバーは、台湾と言えば小籠包！ということで早速美味しそうな看板のお店に行きました。メニューも漢字表記なので、頼んでみるまで正確には何が来るのか分からないのですが、なんとかパンフレットや読める漢字を頼りに皆で真剣にメニューを覗き込むのは面白かったです。しかしやはり私が台湾で一番美味しかった料理は、ノーマルで熱々の小籠包でした！その後、地下鉄を乗り継ぎ台北 101 から台北市内を一望し、ホテルへ帰って来ました。

しかし、半日も歩くとやはり足が重くなります。そこで夜に皆で、屋間のガイドさんにお勧めされた足ツボマッサージへ。そこは足ツボと美顔マッサージと台湾式シャンプーなど選べるのですが、女子の半数以上が足ツボの中、男子三人は皆美顔マッサージを選択していて、二期生の男子は女子よりも美意識が高いなと改めて感じました。



二日目は、ジブリ「千と千尋の神隠し」の舞台にもなった九分と台北市内の故宮博物館や中正記念堂へ行きました。九分には、急なカーブが続く山道をバスで移動したのですが、バスの運転も日本よりもなかなか強引で、バイクの数も多いので、ここで運転するのはなかなか勇気が要りそうでした。九分について、湯婆婆の舞台となったお茶屋さんで台湾式

の、急須や沢山のコップに何回もお湯を注ぐお茶を頂きました。香り専用のコップまであるなど、やはり茶の名産地だと感じました。

そこから、兵隊さんの規律正しい行進を見たり、移動中はバスの中で歓談したりしながら、久しぶりに二期生と先生だけで、水入らずの時間を楽しく過ごす事が出来ました。しかし場所は変わってもやはり、ゼミの時のにぎやかな雰囲気は変わらず、メンバーもいつも通りなので、場所は台湾にいるはずなのに「あれ？ここって本当に台湾？」と錯覚することもしばしばでした（笑）